

目 次

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 第1章 曲線を活用する | 1 |
| 1-1 曲線を描く | 4 |
| 第2章 図形を極める② | 11 |
| 2-1 線の太さを数値で変更する | 14 |
| 1 線の編集画面を表示する..... | 14 |
| 2 線の太さを数値で変更する..... | 16 |
| 2-2 線の種類を変更する | 17 |
| 2-3 グリッドを表示する | 19 |
| 2-4 フリーフォームで自由に線を描く | 22 |
| 2-5 頂点を編集できる状態にする | 25 |
| 2-6 頂点を移動する | 26 |
| 2-7 頂点を追加する | 27 |
| 2-8 頂点を削除する | 29 |
| 2-9 図形を反転する | 31 |
| 2-10 グリッド線を非表示にする | 32 |
| 2-11 「配置ガイド」について | 33 |
| 2-12 配置ガイドを有効にする | 34 |
| 2-13 線の結合点の形を変更する | 35 |
| 2-14 線の先端の形状とサイズを変更する | 40 |
| 第3章 グラデーション状に透過する | 46 |
| 3-1 グラデーション状に透過する | 49 |

テキストの作成環境

OS…………… Windows 10

ソフト…………… Microsoft Word 2019 (Office365) &2016&2013

画面解像度… 1024×768 または 1280×1024 で作成

テキストで使用するファイル↓



※ 画像内の段落記号（↵）のサイズは、2013のものも混在します。

第1章 曲線を活用する

本章では、図形の曲線を活用して、簡単な文書を作成します。

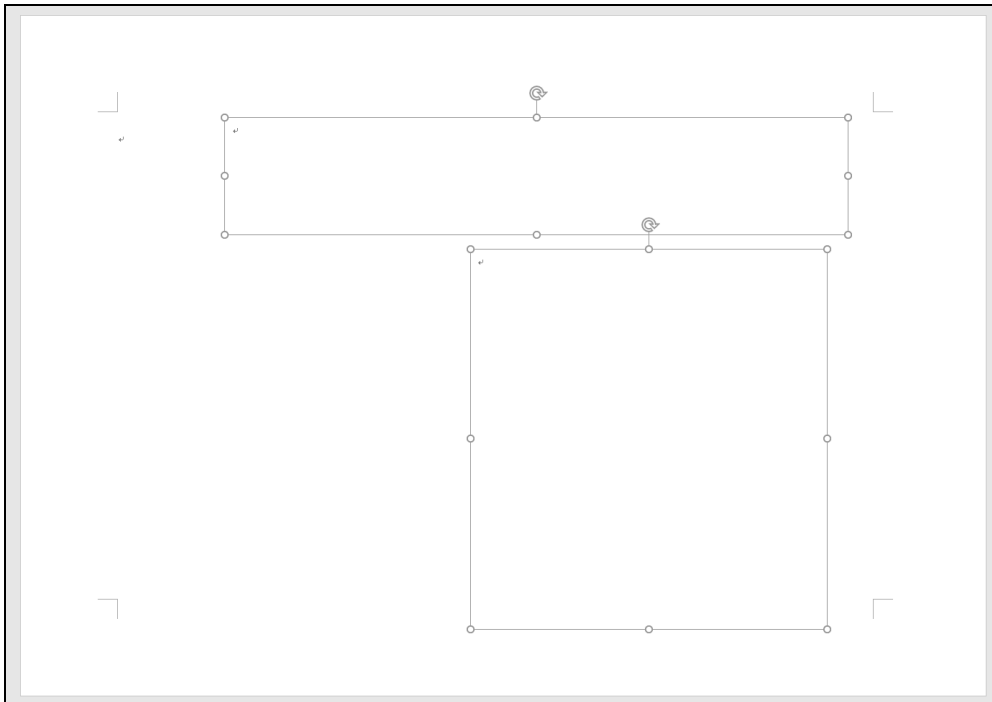
【完成例】



次ページから、手順に沿って作成していきましょう。

● 文書を編集する

- ① ワードを開いて、新規文書を用意しましょう。
- ② ページ設定で、印刷の向きを「横」に変更しましょう。
- ③ 下図のあたりに、テキストボックスを2つ挿入しましょう。
 - 図形の塗りつぶし… [塗りつぶしなし]
 - 図形の枠線… [枠線なし] (2013 は [線なし])



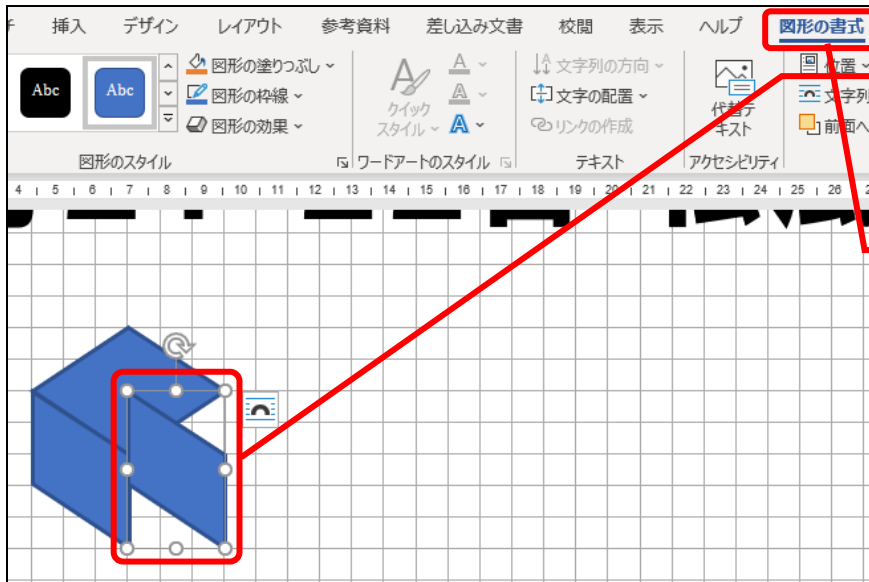
- ④ 1 つ目のテキストボックスに、次の文字を入力しましょう。
 - 入力する文字… 「TODAY'S LUNCH」
 - フォント… [Century]
 - フォントサイズ… [60]
 - 文字の色… [白、背景 1、黒+基本色 50%]



2-9 図形を反転する

図形を左右、または上下に反転します。

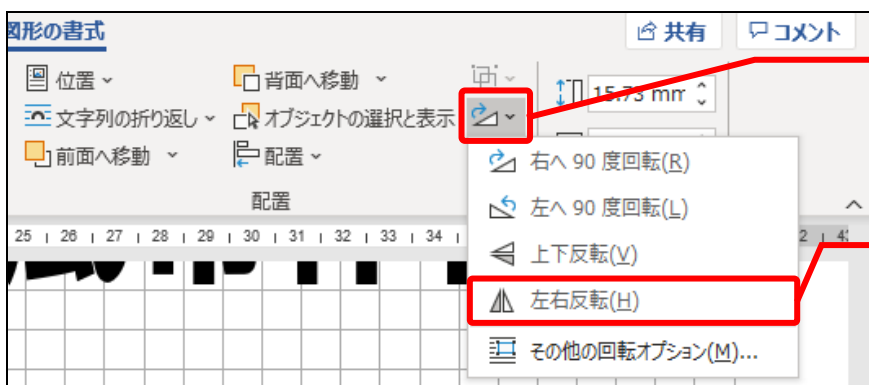
コピーしたフリーフォームの図形を左右に反転してみましょう。



① 反転したい図形を選択します。

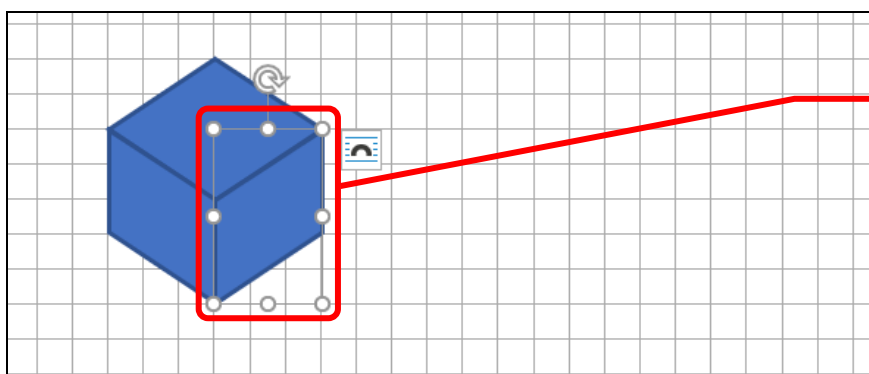
② 「図形の書式」をクリックします。

※2013は「書式」



③ 「回転」をクリックします。

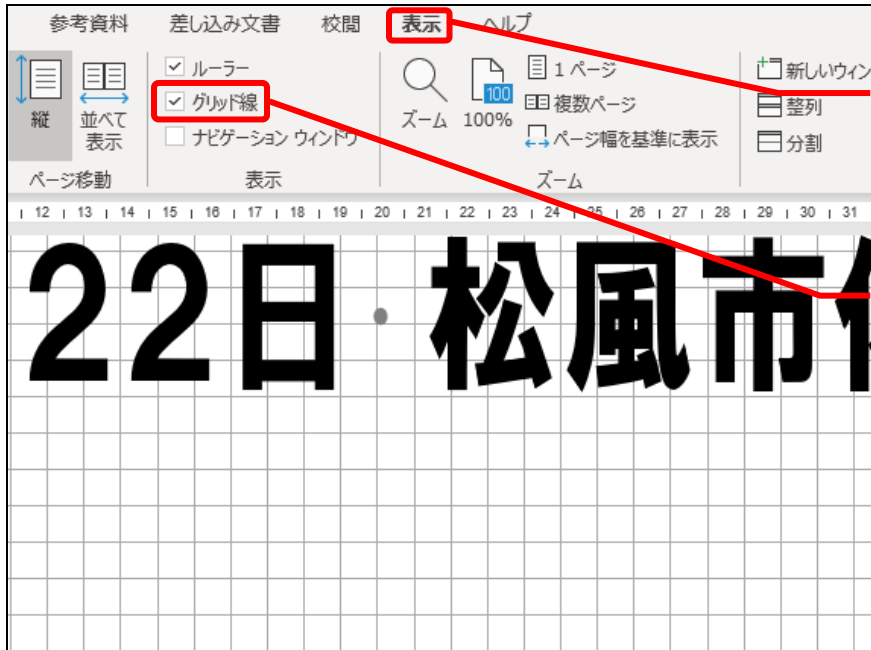
④ 「左右反転」をクリックします。



⑤ 図形が反転しました。

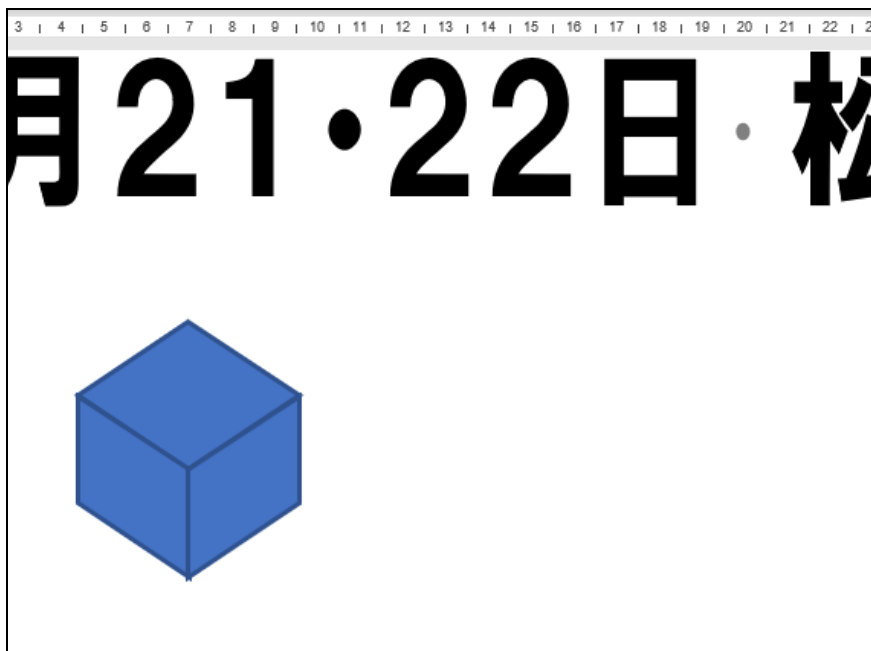
2-10 グリッド線を非表示にする

グリッド線を非表示にしましょう。



① 「表示」をクリックします。

② 「グリッド線」をクリックして、の状態にします。



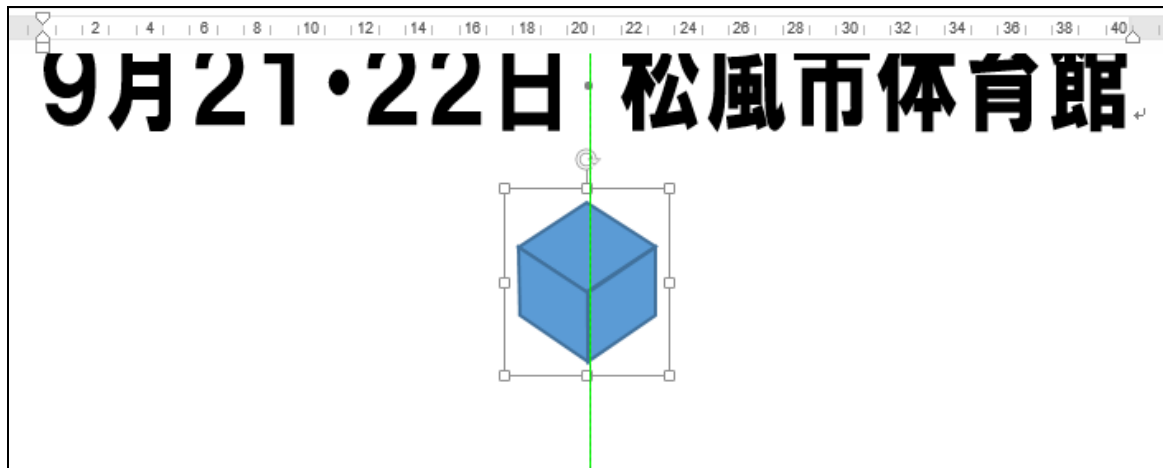
③ グリッド線が非表示になりました。

※ 表示するには、再度、前手順の箇所をクリックして、の状態にします。
(ただし、グリッド線の細かい設定を行う場合はP.19の操作が必要です)

2-11 「配置ガイド」について

「配置ガイド」とは、図形や画像などを配置するときに、ページの中央や左右の余白に表示される緑色のラインのことです。

下図は、用紙の横中央で表示されている場面です。

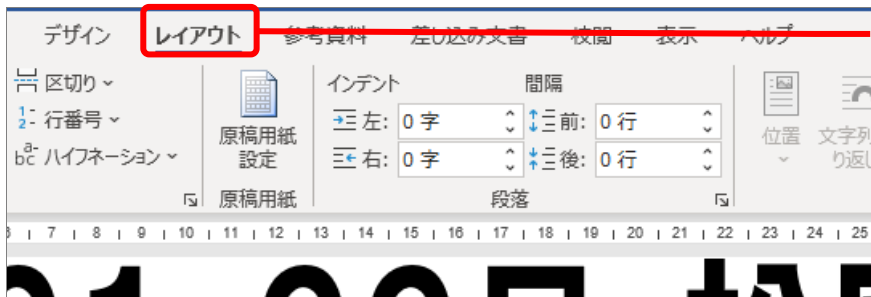


「配置ガイド」は、本項で学んだ「グリッド線」を表示すると機能が無効になります。（「配置ガイド」と「グリッド線」は、何れか一方しか有効にできません）

授業では、パソコンを普段の設定に戻すために、次項で「配置ガイド」を有効にする手順を行いましょう。

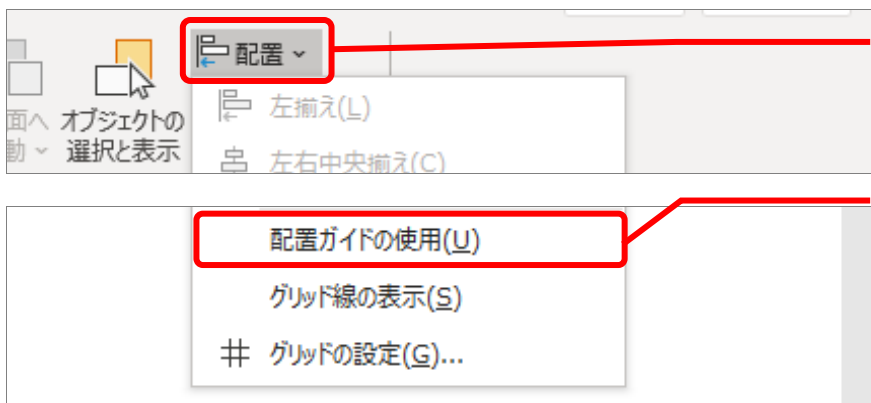
2-12 配置ガイドを有効にする

配置ガイドを有効にしてみましょう。



① [レイアウト] をクリックします。

※ 2013は [ページレイアウト]

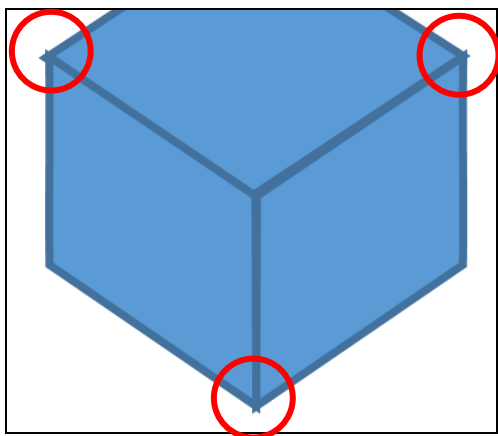


② [配置] をクリックします。

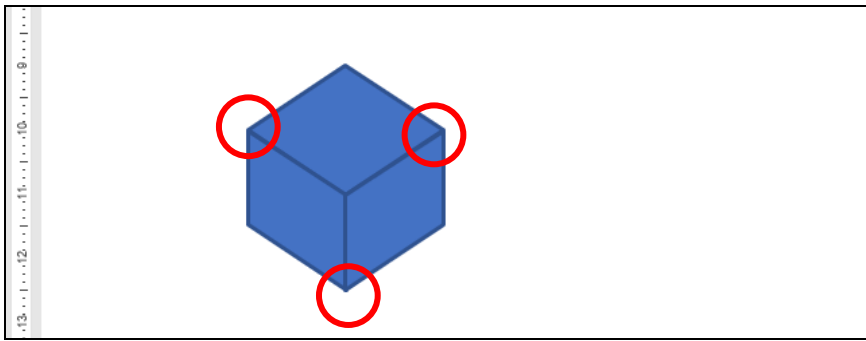
③ [配置ガイドの使用] をクリックします。これで有効になりました。

● 次項で学ぶ内容を確認する

- ① 作成した図形は線の結合点がとがっているので、図形の重ね具合によっては、図形の角が飛び出してしまうことがあります。



次項では、この結合点の形を [丸] 型にして、飛び出さないように修正します。



⑨ 結合点の形が
変更されました。

● 図形を編集する

- ① 下図のとおり、フリーフォームの図形を編集しましょう。
 - 図形の塗りつぶし… リムーバブルディスク内の
ファイル [転職フェア1] ~ [転職フェア3]
 - 図形の枠線…………… [黒、テキスト1]
 - 線の太さ…………… [1.5 pt]



- ② フリーフォームの3つの図形をグループ化しましょう。
- ③ 表示倍率を [ページ全体を表示] に変更しましょう。

④ 下図のとおり、グループ化した図形の大きさと位置を変更しましょう。



⑤ 表示倍率を [100%] に変更しましょう。

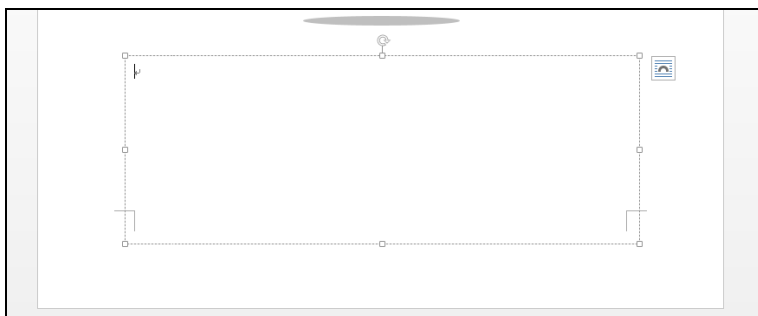
⑥ 下図のとおり、図形を挿入しましょう。

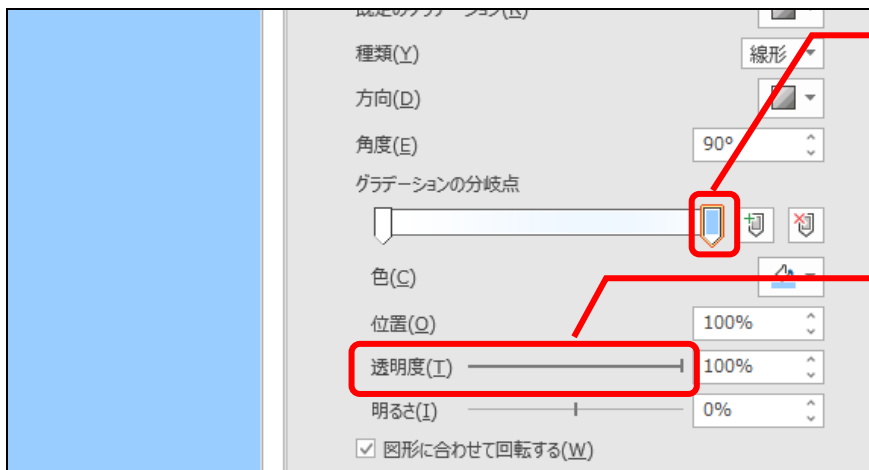
- 挿入する図形…………… [楕円] (2013は [円/楕円])
- 図形の塗りつぶし…… [白、背景1、黒+基本色 50%] → 透過性 [50%]
- 図形の枠線…………… [枠線なし] (2013は [線なし])



⑦ 下図のとおり、テキストボックスを挿入しましょう。

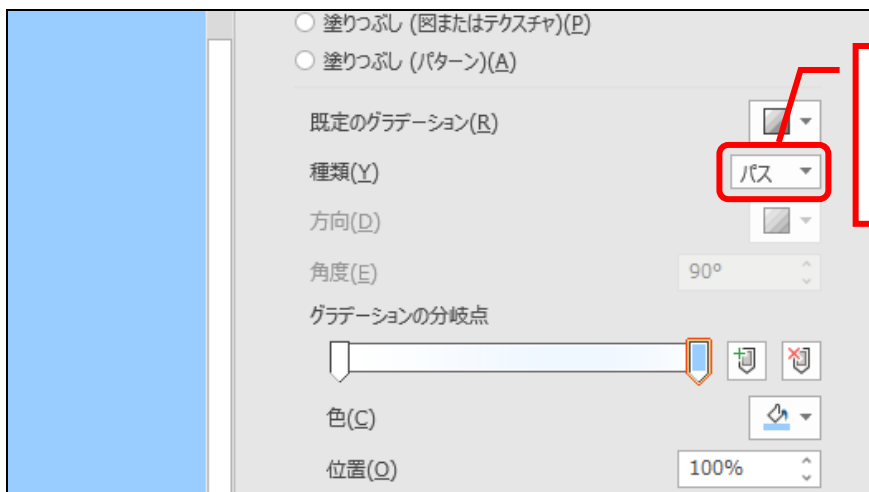
- 図形の塗りつぶし…… [塗りつぶしなし]
- 図形の枠線…………… [枠線なし] (2013は [線なし])





⑨ 透明にしたい方の分岐点をクリックします。

⑩ [透明度] のツマミを右端までドラッグして、[100%] にします。

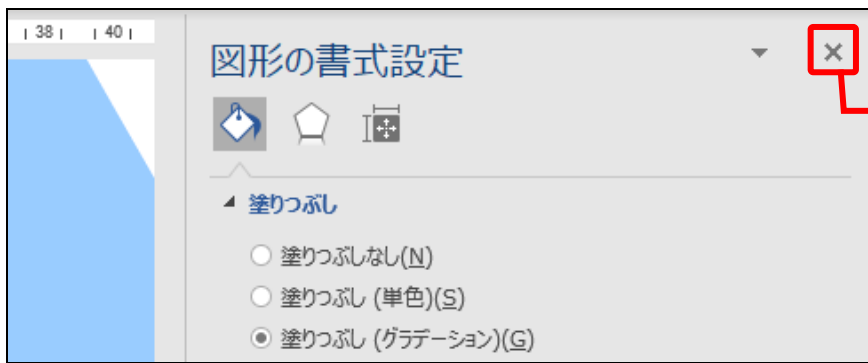


⑪ [種類] の欄をクリックして、[パス] を選択します。

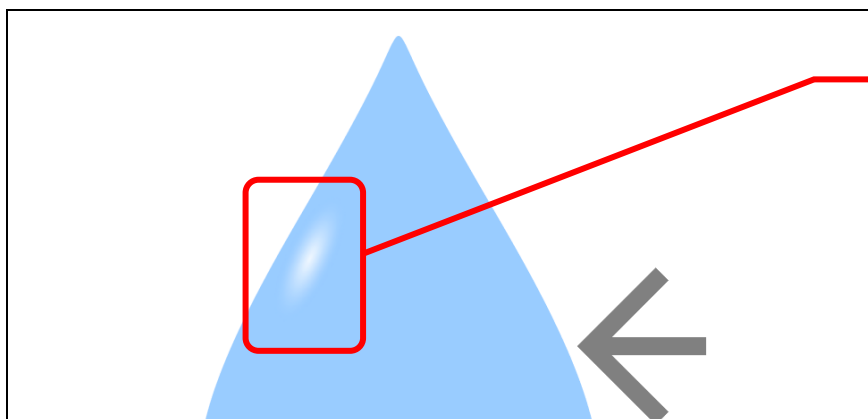


⑫ 仕上がりを確認します。必要があれば、設定を微調整します。

※ 図では、白色の方の分岐点の透明度を [15%] にしています。



⑬ [X] をクリックして、編集画面を閉じます。



⑭ グラデーション状の透過が設定できました。

※ 図は選択を解除した状態です。

● ツヤをもう1つ作る

① 同様の手順で、下図のようにツヤをもう1つ作成しましょう。

※位置や大きさは、任意で問題ありません。

※1つ目のツヤをコピーして作成してもよいです。

※白色の分岐点の透明度は [65%] にしています。

